

◎液体ヘリウムの供給価格を下げます。

先日開かれた低温委員会で液体ヘリウムの供給価格について検討され、その結果、昨年に引き続き供給価格を引き下げることにしました。

値下げの最大の理由は、このところヘリウムガスの回収で特に大きな洩れもなく、比較的安定して回収できているので価格を下げて大丈夫、と判断したからです。

しかし、回収率が現状のままの水準で終わるならば今後の再値下げは困難であり、また、当然ながら回収率が悪くなれば価格の引き上げを検討しなければなりませんので、これからも回収率の向上に努力して下さるようお願いいたします。

供給価格 (L/円)

	現 行	新価格
物性研	400	380
生産研	450	430
実施月	4月から	

◎特色ある各大学の回収状況

千葉県柏市に建設中の物性研究所の工事も進み、移転に対する気持ちが少しづつ高まっています。

液化室では、移転をきっかけにこれまで最も頭を痛めていたヘリウムの回収に力点をおくため、各大学の進んだ回収システムを取り入れるべく、いくつかの大学を見せていただきました。

これまで訪問させていただいた大学は筑波大学、東北大学、東京工業大学の3ヶ所ですが、大学によってガス回収に対する管理、および姿勢に特色があつてとても参考になりました。そのうちのいくつかあげてみると①低温センターの職員がヘリウムの回収に対し強力に指導し、漏らした研究室があると一定期間、ヘリウムを供給しない、というペナルティを課している、②回収純度が悪い場合はガスを強制的に外部に排除するシステムを設けている、③ヘリウム容器一つ一つに超伝導液面計を取り付け、液面を測っている、④低温センターと利用者が回収について意志疎通をはかる、等でした。

物性研でこの全てを取り入れることはとても大変ですが、しかし、少しでもこうした良い点を学んで役に立たせたいと思います。

お忙しい中、快く見学させて下さった各大学の皆さんに、改めてお礼申し上げます。

(吉田)

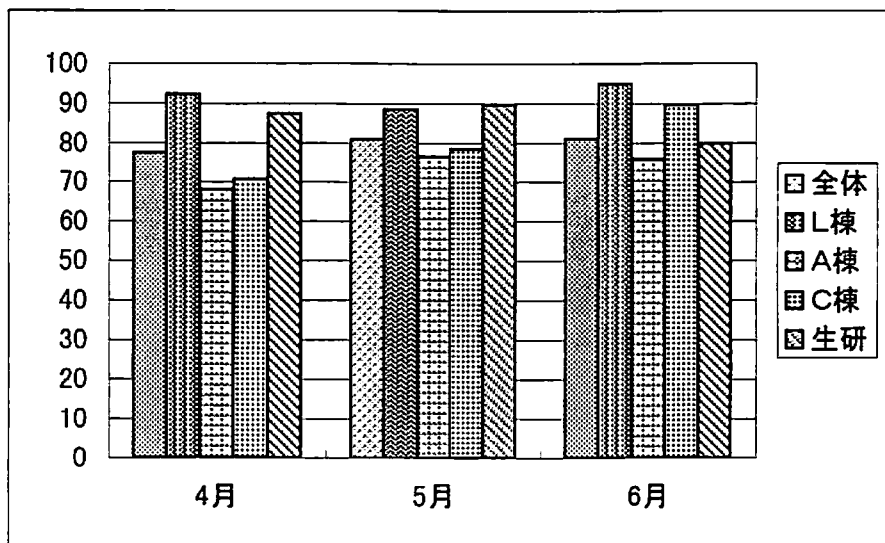
◎ヘリウム供給予定表を配布します。

現在、平成10年度後期(10月~11年3月)の供給予定表を作成中です。出来上がり次第、研究室に配布しますので、もう少しお待ち下さい。供給日は基本的には現在と同じようにする予定です。

◎へリウムガスの棟別回収率（5、6月分）

（回収量、供給量、在庫量の単位は t に換算）

期間	場所	回収量	供給量	月始在庫	月終在庫	回収率(%)
5月 (5/11~6/1)	全体	8845.9	10603.0	3269.0	2944.0	80.9
	L棟	2258.5	2427.0	917.0	791.0	88.5
	A棟	5227.0	6656.0	1912.0	1748.0	76.6
	C棟	677.9	795.0	335.0	265.5	78.4
	生研	617.6	725.0	103.0	139.0	89.6
6月 (6/1~7/6)	全体	12795.2	16505.0	2944.0	3664.6	81.1
	L棟	2753.7	2942.0	791.0	830.0	94.9
	A棟	7899.7	10906.0	1748.0	2243.6	75.9
	C棟	1363.9	1637.0	265.5	381.0	89.6
	生研	757.8	1020.0	139.0	210.0	79.8



今月も回収率80%台達成!!

今月も回収率が81.1%と、当面の目標の80%台に達し、3ヶ月連続で回収率が向上しており非常に良い傾向となっています。今月の要因としては、L棟が94.9%と非常に回収率が良くなっていることが上げられます。

7月に入ってから暑い日が続きますが、集中力の低下によって回収漏れなど起こさぬよう、来月も更なる回収率向上に向けてがんばりましょう。

低温液化室